

前半(第一・第二段落)で将来の夢と過去の経験について述べ、自分の人物像がわかるよう工夫している。

ほかの大学にはない志望先の特徴を取り上げ、自分の経験と関連づけることで、オリジナリティを出している。

私の将来の夢は、子どもたちを助ける心理カウンセラーになることです。その夢をかなえるために、貴学心理学で学びたいと思います。志望いたしました。

私が心理カウンセラーを志したきっかけは、中学二年生の頃、クラスの間関係に悩んだことでした。当時、引っこみ思案な性格だった私は、新しいクラスの雰囲気になじめず、仲のよい友人がなかなかできず、先生に相談にのっていただき、ずいぶん心が軽くなるのを実感しました。また、その先生は月に二回ほど「保健室交流会」というイベントを開き、学年やクラスを越えた交流の場を設けてくれました。それにより、同じ趣味をもつ友人ができ、次第にクラスメイトとも打ち解けられるようになりました。このような体験から、心理カウンセラーを志すようになりました。

貴学心理学は、他大学に比べて児童心理学に関する講義が充実しているため、大変魅力を感じています。また、一年生時から少人数ゼミがあることも、貴学を志望する大きな理由の一つです。心理カウンセラーという仕事には、相手の話を受け止め、さらに悩みや心の奥にある思いを引き出す傾聴力が必要です。こういった力は、講義だけで身につけるのは難しく、また習得するまでに長い時間が必要です。私自身、高校時代に所属していた文芸部で部長を務め、部員の意見を引き出し、まとめるのに大変苦労した経験があります。部長として活動したのは一年間という短い期間でしたが、この経験で得たコミュニケーション能力を、入学後もさらに伸ばしていくために、早くからゼミに参加して、一歩でも夢に近づきたいです。

以上のことから、私は貴学心理学を志望いたします。入学後は専門知識の学習と習得に励み、優秀な心理カウンセラーになれるよう努力する所存です。

800

600

400

200

将来の夢の実現に必要なスキルを予想し、その習得のために今後どうしたいかを述べている。